

外部評価に係る2次評価一覧

調書番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説 明	評価者	評価 区分	説 明	見直し 必要性	説 明
11	富士山世界遺産センター 世界遺産富士山課	有	<p>H30年度までの事業について、当初の目標とした成果をほぼ実現できており、富士山が有する信仰の対象及び芸術の源泉としての顕著な普遍的価値の普及の拠点として、また、観光振興に資する施設としての役割を果たしている。</p> <p>R1年度から新たな指定管理者となり、南館の入館料が無料となるなど、更なる入館者の増加が見込まれる中で、これまで以上に高い利用者満足度を実現するための取り組みに努める必要がある。</p>	小口	要改善	<p>南館が開設して今の形となり丸3年ということで、一区切り、一度振り返るタイミングだと思う。また、今年度から指定管理者が変わり南館無料化という大きな転換を迎えたことで再スタートという状況に近いと思うので、もう一度いろいろな角度から考えて、今後を進めてほしいという意味で要改善とした。</p> <p>具体的に3点申し上げる。</p> <p>1つめは、南館のあり方について改めて考えてもらいたい。来館者が少ないから有料ではなく無料にしたというのが一つの理由だが、来館者が少ないのは有料だからだけではないと思う。テーマが信仰と芸術という少し専門的な部分もあると思うが、ITを使ったり体験型とかガイドによる案内など非常に大きな魅力があるのも事実だと思う。今後、来場者がかなり増加することも見込んでいるが、誰にどのような魅力をどう伝えていくのかをもう一度原点に戻って考えてもらいたい。</p> <p>2つめは、北館と南館を一体のものとして考えることができないかということ。以前は南館が有料ということでもかなり工夫がされていたが、当然テーマ性の違いはあるが、全館無料となると場所的には一体的になり人の流れも大きく変わると思うので、スタッフの配置の問題や売店カフェのあり方なども変わってくるし、見学コースも一体化するなど新しい魅力を打ち出すことも可能だと思う。南館と北館を一つのものとして売り出す工夫に取り組んでいただきたい。</p> <p>3つめは、県内の小中学校の教育の場としてもっと活用してもらいたいということ。これだけの施設がせつかくあるのに、県内の教育旅行は、小中学校の数からするとまだまだ少ないと思うので、具体的に目標数を決めてこちらから働きかけ計画的に進めることで、すべてとは言わないがほとんどの学校が一度はこのセンターを見学するという状態に持っていきけるような努力・工夫をしていただきたい。</p>	有	<p>今年度から入館料を無料化したことにより南館の入館者が大幅に増加しているが、さらに多くの入館者を獲得できるよう、SNS等による情報発信や旅行者等に対する営業活動、教育旅行の誘致などの取り組みを強化していく。</p> <p>また、南北両館を一体的に見学してもらおうような流れを作り出すため、看板の設置等により来館者の誘導を図っていくほか、北館来館者に対する南館への誘導の声かけや、来館者スタンプを南館に設置するなど、事業を南館を中心に実施することで、来館者の誘導を図っていく。また、南館無料化チラシの観光案内所や観光業者への配布を強化していく。</p> <p>併せて、館内の展示解説について内容の充実を図るなど、来館者に対する情報提供のあり方を検討し、利用者満足度をより一層高めていく。</p>
				小澤	要改善	<p>信仰の山として、発信の仕方に一工夫があったと感じた。指定管理者が変わったことで、入館料が無料になり入館者が増加したというのは大変良い傾向だと思った。また、それが北館の土産店やレストランにつながっているのかと思った。北館の展示等にも工夫がされていて分かりやすい案内だと思った。世界遺産と富士講の役割等を、旅行者やSNSで、更にセンターを知ってもらうための発信が必要だと思った。また、近隣の学校だけでなく、更に発信の輪を広げ多くの人に利用してもらうことが望ましいのではないかと思います。要改善とした。</p>		
				村上	要改善	<p>南館の利用料が無料となり、その分は売店収入の利益で補っていくということだが、昨年度と比較して県からの委託料は、委託料の見直しやシステム保守点検の支払の変更を除いても増えているので、集客を増やしていかないといけないと思う。今年度の来客数も、前年比で北館と南館合計で4～6月は増えているが7月は減ってしまっているので、ぜひ来館者を増やしてその増加数が売店の売り上げやその収支に見合っているか管理し、売店だけでなくカフェの方でも集客増加に見合った結果が出るよう頑張っていたいただきたい。富士山についての知識がない人は、ただ見学をただで一度来れば満足してしまう傾向にあるが、ガイドしてもらうことで富士山への興味が深くなりリピーターとなって良い情報を県民に広めてくれると思うので、まずは足を運んでもらうためのPRと現地でのガイドに更に力を入れて利用者確保につなげてもらいたい。</p>		

調書番号	細事業名 担当課	1次評価		アドバイザーによる評価			2次評価	
		見直し 必要性	説明	評価者	評価 区分	説明	見直し 必要性	説明
12	富士北麓公園 都市計画課	有	<p>活動量と成果の判断について意図した成果を上げていることから、見直しの必要性は低いと考えているが、更なる成果を上げていくため、富士北麓に位置し富士山が多くの施設から望めるという優れた景観、標高約1,000mに位置することから、夏季のトレーニングや高所トレーニングに適するという立地条件を共にアピールすると共に、「2020東京オリンピック」におけるフランスラグビーチームの事前合宿地として基本合意、また、ラグビー日本代表のJOC認定競技別強化センターに認定された実績も併せて情報発信を行うなど、さらなる来園者の増加を図っていく。</p> <p>また、新たに設置された屋内練習走路(富士ウッドストレート)についても、日本代表クラスから高い評価を得ていることから、幅広い層の利用者の獲得に向けたイベントの実施など、新たな利用者を獲得するべく利用者のニーズ把握に努めている。</p> <p>さらに、防災活動拠点としての位置づけを踏まえ、大規模地震等の災害発生時に十分な機能が発揮できるよう体制を整え、危機管理を徹底していく。</p>	小口	要改善	<p>スポーツするには素晴らしい環境で施設も相当充実しているが、残念ながら施設ごとに稼働率にかなり差があることや、県民一人あたりの費用負担が多額であるというのが実態である。</p> <p>現在はオリンピック等があり利用調整が必要となっているが、今後、稼働率を上げるためにどうするか、広く県民に利用してもらうためにはどうするかということとを一段と努力していただきたい。</p> <p>改善案としては具体的に3つ。</p> <p>1. 屋内練習走路の活用 相当の投資額でできた施設で、見るだけでも県産材を使用し素晴らしいものであると感じた。もちろんこの稼働率をどう上げていくかは大切であるが、この施設をもう少しPRの全面に出して、例えば、施設の写真を、利用した有名人の感想を載せる等も考えられる。屋内練習走路をPRの前面に出し、公園全体のPRにつなげるというような工夫が必要である。</p> <p>2. 施設利用者以外の利用者(観客者数)の確保の工夫 競技やチームを見る人・応援する人を増加させるための工夫をすとい。先日の報道でもあったが、有名な選手が来園すると相当数の観客が訪れるため、そういったチームや選手を呼び込む、呼び込んだことをPRすること等も観客者数を増やす一つの方法である。また、スポーツに関係なくとも、イベントを企画して来園するという方法もある。</p> <p>更に、周辺に飲食をする場所がまったくない環境であるため、簡易的な飲食場の常設等について今後の検討課題としてもらいたい。</p> <p>3. オリンピック後の施設活用の方策の検討 オリンピック後の対応を早めに検討する必要がある。ここ3年ぐらいはオリンピックに向け多額な投資、オリンピック関係の誘致を優先している。これは当然であるが、問題はオリンピック後である。多額の投資をどう回収するか、オリンピック関係以外の利用者数をどう確保するのかを早めに検討し準備する必要がある。</p>	有	<p>自然や景観に恵まれた日本有数の高標高地にあり、オリンピックの合宿地としても選定される本格的なスポーツ施設が整備された公園である優位性を活かし、更なる県内外からの利用者の増加を図っていく。</p> <p>併せて屋内練習走路(富士ウッドストレート)については、事前合宿に利用された実績や日本代表クラスから高評価を得ていることなどを重要なアピール要素として、稼働率の増加を図っていく。</p> <p>以上のことを踏まえ、オリンピック後の利用者増につなげるよう、本公園施設全体の魅力の情報発信等について指定管理者と協議・検討を行っていく。</p> <p>また、スポーツをする人だけでなく「競技を観る人」などの利用も増やすため、加えて、求められる施設についてアンケート内容を工夫しながら利用者ニーズを把握し、来園者の呼び込みのための方策について指定管理者と協議・検討を行っていく。</p> <p>更に、防災活動拠点としての位置づけを踏まえ、大規模地震等の災害発生時に十分な機能が発揮できるよう、今後も引き続き設備の維持点検や訓練の協力を行っていく。</p>
				小澤	要改善	<p>富士山などの景観に恵まれ、夏は涼しい環境の中でスポーツを楽しめる絶好の場所、素晴らしい施設であると感じた。敷地全体を管理運営するのは大変なことであるが、公園内の清掃から、植栽管理、各種施設の保安・点検巡視、情報発信等、管理者の努力がうかがえた。</p> <p>屋内練習走路が供用開始され、トップアスリートの要請にも応えていることが理解できたが、オリンピック後も更にPRが必要と考える。</p> <p>今は2020年オリンピックのフランスラグビーチームの要望にも応えているが、今後、幅広い利用者の確保や他県からの利用者の増加につながるよう、利用者のニーズの把握に努めていく必要がある。</p> <p>また、大規模地震の際など防災活動拠点として十分に機能を果たせるよう、危機管理にも力を入れてほしい。</p>		
				村上	要改善	<p>自然に囲まれた良い環境で、オリンピック合宿等、国際的にも使われており、その期間は利用制限があり、一般の利用者数が減ってしまうが、そこは認知度の向上と捉え、最善の対応を行い、それ以降に一般の利用につながるようにすること。</p> <p>屋内練習走路は、オリンピック開催後の工夫でどれだけ一般の稼働率を増加させられるかが課題と考える。</p> <p>教育委員会で対応した施設の設置費用や、維持管理費・改修費に係る費用まで含めれば、施設に投資した額は県民一人あたりにすると多額となる。交通の面からも容易に散歩等にいける場所ではなく、利用者によりが出ている気がした。</p> <p>県民に有効に公平に利用されることを意識して利用者へのPRを行ってほしい。</p> <p>また、災害時の防災活動拠点としての、県民の安全の向上に努めてほしい。</p>		